

# 全日本U12サッカー選手権大会要項

1	主 旨	<ul style="list-style-type: none"><li>・日本の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クワイティブでたくましい人間の育成を目指し、その研修の場として本大会を開催する。</li><li>・将来に向けて大きく成長するための準備として、この年代にふさわしいゲーム環境を提供することにより、育成年代で年代に応じた豊かな経験を積み重ねる中で自ら成長していくことのできるようサポートする。子どもたちや周囲の大人が、サッカー、スポーツの素晴らしさに触れ、生涯にわたって楽しみ、関わっていけるよう、文化として醸成していくことをめざす。</li></ul>
2	名 称	JFA第46回全日本U-12サッカー選手権大会 神奈川県大会
3	主 催	公益財団法人日本サッカー協会 公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団 読売新聞社 一般社団法人神奈川県サッカー協会
4	主 管	一般社団法人神奈川県サッカー協会第4種少年少女部会
5	後 援	日本テレビ放送網/報知新聞社/神奈川県/神奈川県教育委員会
6	協 賛	YKK/花王/日清オイリオグループ/ゼビオ/日本マクドナルド
7	開催協力	モルテン
8	期 日	2022年 11月 5日（土） 6日（日） 1、2回戦 11月12日（土）13日（日） 3、4回戦 11月20日（日） 5回戦、準々決勝 11月23日（水） 準決勝、決勝
9	会 場	神奈川県立スポーツセンター他
10	出場資格	大会実施年度に（公財）日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。 選手証の提示を適用するため、上記団体（チーム）に所属する選手であり、 日本サッカー協会発行の選手証を有するもの。 ベンチ入りの引率指導者のうち、D級以上の指導者資格保持者が1名以上いること。
11	表 彰	優勝チームは、2022年12月26日（月）～29日（木）鹿児島県で開催の決勝大会に出場できる。
12	出場チーム数	横浜地区：48 川崎地区：20 県央地区：24 湘南地区：24 県西地区：6 かもめG：4 少女：2 計128チーム
13	参加費	10,000円
14	代表者会議	日時 2022年10月23日（日） 受付13:00～ 会場 日産スタジアム内会議室 301号室
15	競技方法	トーナメント方式による。
16	競技規則	（公財）日本サッカー協会が発行する8人制サッカー競技規則による。 ただし、次の事項は、本大会用として大会規定を定め、優先する。  (1) 競技のフィールド ・縦68m、横50mとする。ただし、ピッチサイズは、それぞれの事情において設定してもよい。 (2) 競技者の数 ・競技者の数は8名（試合開始時8名に満たない場合は棄権とみなす。試合中に怪我等により人数不足になり8名に満たない場合には、そのまま続行する。） ・交代を行うことができる数：制限しない。但し、個人登録した選手のみとする。 (3) ベンチについて ・ベンチ入りできる引率指導者は、2名以上3名以下とする。 ・チームベンチはフィールドに向かって左側がトーナメント表の若い番号のチームとし、対戦相手が右側とする。 ・ベンチでの携帯電話・カメラ・ビデオ等の使用は禁止する。 (4) 審判員 ・4回戦までは、1名の主審と2名の副審が指名される。副審については、チーム帯同の公認審判員をお願いします。第1試合は、第2試合の両チームでお願いします。それ以降は後審判をお願いします。（第4審判員は置かない） ・副審担当者は、10分前にコート本部で打合せを行う。 ・5回戦からは、1人の主審と補助審判が指名される。 (5) テクニカルエリア：設置する ・その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。 (6) ユニフォーム ・正・副2組のユニフォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。

- ・正・副の2色については明確に異なる色とする。
- ・ソックスにテープまたはその他の材質のものを貼り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- ・アンダーシャツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ・アンダーショーツおよびタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色のものを着用する。
- ・GKのアンダーシャツ及びショーツ・タイツについてはチームと同一の物、またはGKユニフォームと同一の物を着用することができる。
- ・ユニフォームのデザイン、ロゴ等が異なっても、本競技会主催者が認める場合、主たる色が同系色であれば着用することができる。

#### (7)試合時間

- ・試合時間は40分（前後半20分）ハーフタイムのインターバル5分
- ・規定の試合時間内に勝敗が決しない場合、P K方式（3名）により勝利チームを決定する。  
決勝戦は、前後半5分の延長戦を行う。決しない場合はP K方式。  
延長戦に入る前のインターバル：5分。P K方式に入る前のインターバル：1分
- ・アディショナルタイムの表示は：準々決勝から行う。

#### (8)交代の手続き

- ・交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
- ・交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
- ・交代はボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる
- ・交代は、主審、補助審判の承認を得る必要はない。
- ・ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- ・交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。

#### (9)負傷者の対応

- ・主審が認めた場合のみ、最大2名ピッチへの入場を許可する。

#### (10)懲罰

- ・競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は試合を停止する。
- ・警告を累積2回受けた選手、指導者は、次の1試合に出場できない。
- ・退場を命じられた選手、指導者は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置は第4種規律・フェアプレイ委員会で決定する。
- ・出場資格の無い選手が出場した場合は日本サッカー協会懲罰規定に準ずる。

#### (11)マッチウエルフェアオフィサーの配置

- ・暴力・暴言・差別を排除し、安心・安全な環境づくりの一環としてマッチ・ウエルフェアオフィサーを配置することがあります。

ただし準決勝・決勝は配置する。

### 1.7 留意事項

- ・事故のないように十分注意し、事故発生の際は個人の責任で処理する。
- ・選手の健康管理には、特に留意する。
- ・選手の掌握には細心の注意を払い、競技等に支障のないようにする。
- ・試合の撮影は撮影許可申請書を大会本部に提出し、遵守事項を遵守すること。
- ・会場内では、盗難等には十分注意する。

### 1.8 コロナウイルス感染症対策

- ・コロナウイルス感染症対策を個人、チームで行うこと。詳細はJFAのHPを参照してください。

### 1.9 照会

各地域協会・グループの県第4種少年少女部会員まで